

社会

出題の傾向

50点満点で、歴史・地理・公民の3分野から出題し、基本的な事項の理解力を問うことに重点を置いています。

2017 今年度の出題と解説

1 次入試

50点満点

(歴史 20点・地理 20点・公民 10点)

平均点 27.0点

①は歴史の問題です。

平均点は 12.1点(20点満点中)

12(A～L)の資料を示し、それらに関して出題しました。初めて見る資料に驚いた受験生もいたかもしれませんが、問題文をよく読めば基本的なことを問うていることがわかります。落ち着いて問題に取り組みましょう。記号で答える問題が10問、語句の記述で答える問題が5問です。5問ある記述問題は、漢字で答えられるようにしておきましょう。記号問題では、解答以外の選択肢に惑わされる受験生も多いかと思いますが、答えは歴史上重要な語句や説明ばかりです。教科書をよく読んで勉強して欲しいと思います。

②は地理の問題です。

平均点は 8.6点(20点満点中)

8つの河川(A～H)に関する説明文を読

んで答える形式の問題です。Aは信濃川、Bは富士川、Cは北上川、Dは大淀川、Eは利根川、Fは天竜川、Gは遠賀川、Hは高梁川に関する文です。河川の名にこだわらず落ち着いて取り組みれば、設問は基本的な地理の問題ですので解答を導き出せたと思います。問1や問9のように「最も～な…」を答える問題は、地理だけでなく歴史や公民でもよく見られる問題です。しっかりと学習しておいてください。

③は公民・時事からの出題です。

平均点は 6.2(10点満点中)

Aは2016年の政治に関する出来事について述べられた文章です。問4は連日のようにメディアに登場する人物です。新聞やテレビのニュースなどにいかに目を通しているかが鍵となります。Bは近年の社会の情勢に関して述べられた文章です。こちらも新聞やテレビでたびたび取り上げられた内容です。社会のすべての分野に関して言えることですが、ニュースや世間の出来事に絶えず目を向けてください。

対策と アドバイス

教科書に載っている語句や出来事を中心に出题しています。学校の授業の重要性をよく考え、教科書を中心とした基本的事項を理解しておくことが大切です。そして、資料や地図を使って自ら調べるといった自発的な学習を心がけてください。さらに、新聞やテレビなど、現在話題となっている出来事や時事に関する事から関心を持つようにしてください。また、例年繰り返して述べていることですが、基本的な用語・地名・人物名などは漢字で正確に書けるようにしてください。